政府、重要國策を協議

精

一次寒東作戦の

火蓋切らる

空軍基地建設

本國空襲を企圖

區主力に猛攻

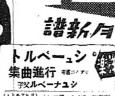
現在の時局認識には冷靜第

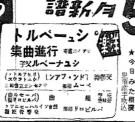
有田外相、所信を披藤

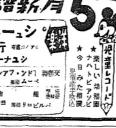


報 黄昏道中 ・ 途分道中 李馬辛恵奏報 黄昏道中 ・ 途分道中 李馬辛恵奏

つはさ行進曲京歴児薬開 本小翠生の歌光童合唱圏









DE PE

+11

光山頭 多三木有 ノラザースの第一整ノ

版部 迎 郎 曲

本義田川

るかに第田八郎

靈に捧ぐ感激の熱唱語と

☆全國的大流行の傑作揃ひ☆ 編 可愛い後乗りさん

ストコフスキ)塩産 作林マイト・モニック学数報 グ アイスパッハ 指揮 のチャイコフスキー、作品関リ

一会時 イリスシュウ

サータがのか おかな

新月5

度過少出

げさ學童代

神宮に歸還奉告、本社

脈々しく華北記者圓入城す

900 (000 (000) 000) 900







米の買出票渡さず

御野駅内鮮共學の地 旭丘中學駅入

エノケンのざんぎり金太三と同時上映中 日滿貝逐品Gc (配) 岩草東宝映画劇場 加篇

问時上映《 愛

不足の秘密

クラベ Own 明コガ

通知申上候 日午前十一時五十分 死去致候間心段御父武夫(儀病氣燈養中の虞栗石無効三

日受付致のする(金融製品田路のナブ音のは登画で新サブコドガアリマン) - 大 學 試 験 切 日 變 更 廣 告 一入 學 試 験 切 日 變 更 廣 告

志願兵應募に感激の部落民

ショコラ











て全滅する猪印

早退代無・泉海の趣活・子母

を出してゐる話である

A B C 本語の 本語の A B C B C B C B C B C B C B C B C B C B C B C B C B C B C B C B C B C B C B C B C B 地在や所売専グッラド田有

社會武森 店商古友源語 商者如蓝田市政大 和木區都水日市政政 時門本 日 市 班 京 衛作本版和大市大海

されたと、 間も、 二国五十月 から、 島、のになっと同じー中 からっ、島、のになっと同じー中

日本の第の総合的原法で多数のはせる戦く、有効的質数の組織 て 個投 も 断く、 治 飲 上 奶酸 園 に 、 暇 亦 賦 巻で 、 し か も 有 密 に 、 暇 亦 賦 巻で 、 し か も 有 密

肺尖カタル メント もの差がある

同僚の目的を送し得るのであ 練門は各頭により間々

F が作用は、か同作者、作在性 P の原本の かられている かられてい かられている かられている かられている かられている かられている かられている かられている かられている かられている か

さす。

厚生大臣を食長とし がすべきは小型である。 一部すべきは小型である。 ですべきは小型である。 であるではっていません。 ではないである。 ではないできる。 ではないできる。 ではないできる。 である。それが対条なのである。それが対条なの

良ごするか 音 松

如何なる薬剤を

壯强血補 On・電子と ゼートル グ On・電子と ゼートルブンゼルア On・電子と ゼートルブドーヨ On・電子と ビートルブ ナキ On・電子と ゼートルブルーコヤアタ On・電子と ゼートルブオネ

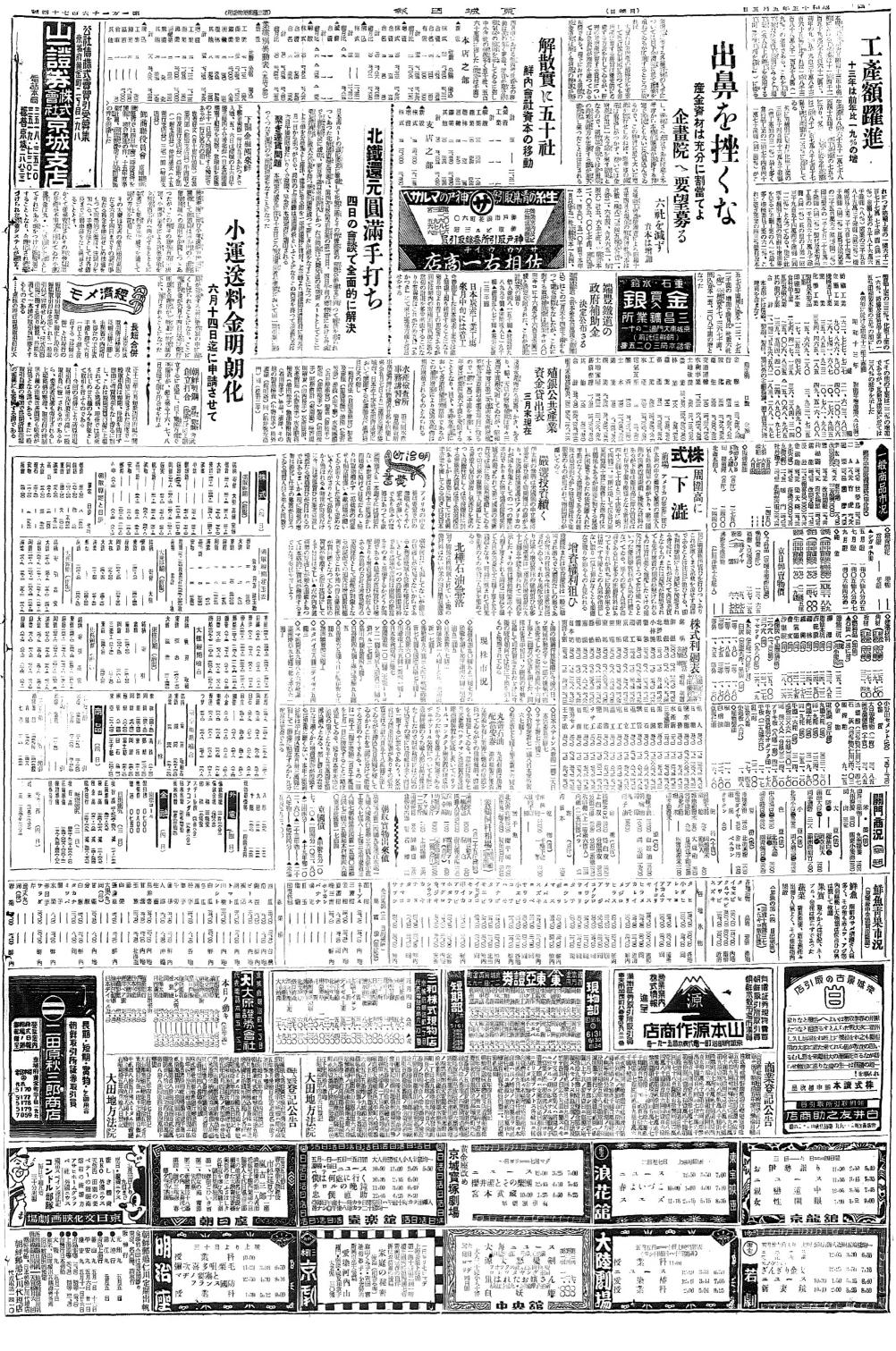
ンモルホトウア血流 藥備常院病大帝各

充力精 化强力抗抵

成虫、幼虫、卵まの、気、虱、南京虫の

治 毒は

せ



復興

20回

西

喝,安陸方面大進擊狀況

処安大會で公然族を非難攻殿

央佛軍の態度に失望

生遍路

反流轉 歴思馬機厨時紋 ひ 月 史出車械記計章 金科 十四 雄 目次 回

ア・L・F 刊新最 著ンレ 田福

話軍司令官が悲壯な聲明

集全學文本日新

米陸海車變車

卷一全 卷 形 **件律由自**

南の成容!! 南の成容!! 中塚 一碧 樓 選中塚 一碧 樓 選

明治・大正・昭和二代作句 明治・大正・昭和二代作句 の北大坂の次に収るもの 総 の北大坂の次に収るもの 総 いまなほの は 1 大 作句を謂るもの 総 が 1 大 作句を謂るもの と びず 1 大 作 1 大 作 1 大 で 1 大

★俳句三代集★

實株の専問業 時流に投ずる妙味よ

冬の部(卷二卷八) 二三 次の部(卷二卷八) 四菊 选科十四 经定價一個八十钱

高 資 資 選 子

富安風生

新年の部(在 九) 園園

改造社

告げた一九十九年から三〇 中に直流を持ちた。 かり程度を行うる。上は大 かり程度を行うる。上は大 が構築から下は関のギャンが が構築から下は関のギャング が構築から下は関のギャング が大気度に対っ、どんな風 に行動し、どんな思考の では、不変改成いた書であっ にば、何に関係するかを興 をしている。

記ノ田の正體暴露に宣撃たる米東亞の新事態

譯實

横光利 集

回三第

版年五十和 目

次

發開 研東商山 究亞業口 會經學高

量。 網 編 濟 校 等

(刊新最) 經 誻

[2] 大阪 尊船 概 と 帆

して三郎の際と野難し地

明打に出で関打に表いれ

見罪れた、第一記合憲法一回歌

慶應勝つ

废法一回戰

六大學リーグ

東亞東京大會

第四回の途に 新 瀬 東室選手全快 「町号

であつた集製語夫(日大)選手は

秋式庭球代表 ◆□ 電 第

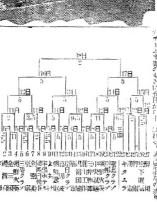
回全點選手權人所

(印度) 京城運輸場 四球一型学手間中華大會第二日 (山野) 安島町曹魯治場

中人世年岩三十白井 大野館造部を通じて完の低く療表。門館廣選到着(2時)子十二名(大組)を決定、三日夜一、八室門出餐(日時期) 【東風器】日本代式祭門唱出人

紫野球リ

ふから開始さる



れてゐる『トモサン』とは、

第二に、吸売作用と言ひ……

臂腸病に最も皆のある胃腸

の獨特の薬理作用は……

内の有毒素と関取解性物で をはして大便中に排出し、 吸収して大便中に排出し、 さらに腸内に繁殖する種々

装電分を吸收させるのが新し

自身の働きで食物を消化 自然力を盛んならしめ、胃腸

む方は、一日も早くこの最新

永年の慢性門腸系で憎

嗣昌寧出張所

格的に治療なさるやう、 の胃腸薬トモサンによつて水

大〇錠入(十日分) 七〇鍵二七〇錠入(徳 用) 三関七〇

骨とか腸の粘膜に生じてる

に、被獲作用と言ひ……

して各方面でさかんに質用さ

今主部制の新胃腸薬と

置して、種々の網報をさへ

ぎりながら、これを健康粘

か祭養とかは第二の問題とし

何よりも先づ胃腸病の病源を

時的

にあらず、本格的の療法

働きが活潑となる

全鮮自轉車選手權豫想

分までと違ふ治療法

春季學生弓道

京城實業春季野球リーク

最終回徳島の暴投に決す

力力

合

一室崎─井上、橋本─守舎──宮 併設 大第一宮崎─岩本、い舎 田記・三盤 19中田、弘田

7. 安村衛至三元失経

殖銀遂に遞信に敗る

(中定委员) 帝立一向神公郎诗 时十会 **山**

特に降・西村・藤田・木谷、

ーグ戦は四、五、十二の三日間、

三回に主力器印剤しくが、日

等 大吃中, 医促蛋白的 人 医阿克格氏 (五日中期中, 1811年 1811年

築ができました

新の可摩を行う散職に我式した一般に慰問ではでは、「大田和民主」

服んだり手當をしても仲々治り難く、 療する薬が發見され、最近は各方面で認識を高 治り難い慢性胃腸病を今までと違った作用で治 胃腸病が一度コチレて慢性になると種々の薬を んでゐる人が多數にあります。所が今度、この かなり悩み

の 「一個門」をも同語と

5. 雑型生物で利益・組 田四がた田本が低三様後面田型脈后観世四日十後一時 - ガニ盗せるもは下凡退(限)内別は茶季! - /黒龍海一 | ▲三回(湘) | 承後高田三殿選史

の人、刺教性、甘味性、脂肪 飲暴食 盛んに賞用されてきました。 規則な生活

足の人、咀嚼の不充分な人、 は大腸カタルとか、赤痢とか、 ピール、タバコの好きな人、 には、知らす~~炎症(ハレ、 容易に元通りにならないのは、 の飲食物を常用する人、運動不 からした人達の胃とか腸の粘膜 人が、一たん智勝を思くすると 核とか、その外上病を患つた

府職(1時)課員 製殖 壁

けふの運動

◇エ汽桶代(曳龍日報連個の書)、 健康日本代表)前先を三日電職 手職で概差界入り

運動界消息

れて伸々治りきらないからです 症が日々の食物に絶えず刺戟さ ダレ、キズ)ができ、その

でも本格的に良くならないばか 町心のこの炎症を治すことを つてねますから、胃腸はいつま 然るに多くの人は、胃腸が温 時的に良くする葉を服み、

などの称と

險があります。 胃情傷、胃癌、腸潰瘍となる危 化して潰瘍性となると、重症の もしこの炎症や塵爛が思 の症状を依

鳴などがつょくとか、一日に五 あげる、貪残か空腹時に胃が痛 回も六回も下痢のある方。 慾があつても食べられない。 …或は下痢便、しぶり腹、雷 腹が張る、貪慾がない、 胸やけがする、客酸が込み

たえず胃腸が惡く惱んでゐる人 脂ら物が好きで、 が根本問題であると言はれてき 腐敗騒停物などを清掃すること 治療し、同時に胃腸内の有毒素 膜に生じてゐる炎症とか離別を には、何上りも第一にこの初 後つて慢性の胃腸病を早く

動車株式會計

が今ま評判の新胃腸薬 『トモサン』です。 と、に潜脈して銅製されたの 鉄劑

朝夕の一杯は

AI

信鮮朝

0 0

倍託業齊案內

其他一般信託 為 雖 信 託 語 信 託

置體內架業基

00

健康の

元氣を増す 疲れを踏し

能

支店 群山、登山、水渦本店 京城府南大門選二

酒

井

编编

是 是 上 病

赤海

こんな症状に 特に好適です

ルチラ

下さい。

「買ひだめ」しないで

人の生活のためなんです

使ふ人、賣る人、作る みんなの為なんです。 (電子を選手) (電子を選手) (電子を選手) (電子を選手) 五大番 囗(交谱所前)

うまくゆくんです。 品切にもなりません。 さうすれば、、みんな、

Separate Sep

しをこんだ一切の軽い明



るけ於に科人婦 荷炎性ルタ カ種各 爛糜 邁 遺 胶 粘 炎膜內宮子 下帶

ルタカ管頸宮子 の性毒淋に特

MENISPIN M 5 P 1 5 O 3

<u></u>00 店 商 吉 友 澤 藤 社 會 式 株 町本區衛本日市京東・町修道區東市医大

第十四期決算報告背

治療剤の權威

提替口座●東京一九三八香 電 語(2) 一 長八、長二 一 長八、長二

販賣元 東京市日

友

H

合

會

本橋選本町三ノ

百四數差十六分六四

法人登記公告

がからいます。 大型である。 大型である。 大型である。 大型である。

風に飜る けふ端午の節句。春川所見。 網信通道機宜 水原支 15(同 1011年) 住職年来緊痛で静觀してゐたがに、水質が支援向 111年音) 昨月大和町四四十数大化変分(で) 閉味支 銀信 四十五音) 作業・場で 種死 【川川】 本海、四州、河川、空協 原温、区山、江佐、原州 月夜九時ごろ動物先の大和町領針 月仮九時ごろ動物先の大和町研修

作業場で程死(山三)

早克工事の犠牲

死亡廿三名ごいふ數字

(同州) 芸月二十一日から二十七日まで道内各地球道下が状況を費

悠々日標超えて

き上らない料を見た事は前の節も側ざせてしまつたが、無触して地

として今天事態順召明士の兄気歌が元二千六百年記録事刻の一とつ

(死二) ▲宋朝二(死) 元州 (石田) ★谷曜三

個人名であった その合計は死二十二名、百

現在で

料定施設事業として着立し

五) ▲桐田二(死一) ▲和那六(死) (死) (死)

作製し四日開城神社へ密閉した 就勞成績は甲

一川の港祭 十五日午前十一時神輿發幸

譽れの勇士の兒らへ

が、武式領子の他左の通り決定し 贫幸 午邮十一時▲通飯所料午泉、酒工袋 十五日午邮千時▲舗棚を祭 十五日午邮千時▲舗

世界の打合質は脚計側、本年常帯

贈る貯金通帳 端午のサンタクロースさん

|田郡関侯・仁川署は《盆田町 金郷郡氏はこの程人立将年追郊所御委副侯
「田城」が内、瀬月町10八吋。 船乗副侯
「田城」が内、瀬月町10八吋。 船乗
・祭典委員長
七川府尹
「田城」が内、瀬月町10八吋。 nų 青訓整備に 一千圓奇附

| 「現一の経典では、一大の表述、一大の

試期日變更昭和高女入

窓所日その他は左の通り発売されて一川」昭和高等女祭校の人が続

【春川】 女師の果然時も保持が観光が近し、さずがに思っ時間の気管に示すに至ったが、右ばい「十古都裏側といよ物が外の所能を示し、さずがに思っ時間の中間を保知が指摘して一貫と「十古都裏側といよ物が外の所能を示し、さずがに思っ時間が自然に関われている。 とつき事権別は認る

無生し、助けを呼

れで総つたら立脈な職人だが

貯金報國つひに成る

百餘萬圓

を附近にあった場合十條尺の時を明はと聞きても、と見難した ガーにはり込んで自宅

殿り数したばかりに早合版 7心

「開城」 職務別では、「下職事技術・神」 五日午後二時時内間前四四等で執

共同數學班目時即亦

人の厳き

大部地方學校局版報報受を股州、新議州等の担急所長を經済相出しに管幹に入り签由、 を掘出しに官界に入り釜山、荷氏は御兄島縣の出身、七川駐職 開城署檢索の網にかよる

桃色男女四十名

郷土を思ふこの情 慶北出身の炭坑勢倒者から

血滲む義捐四百圓 大邱放送局は

「政府は何男(明徳しても独出な

の財命通牒を一通っつの時記 然に関り部の所仰が強くる上の果然で五月五日の職件 一では別年の保証内川作男

所属川新井秀師の六人の赤内宗甲松本道。平山郡即谷

片架を設け代示器にの一般

石町樹北道、緑原郡北野の田町村は北幸町佐藤東海男、同芸内数一、殿

十四日地鎮祭

釜山の二重放送も近く着工

総形のため二日本批画政府支局田川業雄氏(楊州郡県県)新計

大 とく 自受かから自動のに積土 金製御紙 (和近衛等相信即事) は は上、高七十五百人で、前半に 十二二二人で、現状の解します。 したのだ、現在金額の顧取者 ・ 「独居教育」で、「記書」に 十二、萬七十五百人で、前半年 1 は十二、萬七十五百人で、前半年 1 は一次のため同上

でには二十五萬人にしようと設めには二十五萬人の極崎計量を図て十一月ま

不知整門人

##*・ 歌問勝(日)日子卿十等との歌で 総上林田時度出現古代表章語社 (全て持ちての四分作泉上はいれて 年歌 項で担当者の動物、 「一家語の歌語が解する。 「「中華 1 「中華 2 「中 仁川の功勞者吉田さん 府會副議長として表彰か

のとして即、保されてあるが、さいとして即、保されてあるが、さいとして即、保されてあるが、さいとして即、保されてあるが、さいとして即、保されてあるが、さいとして即、保されてあるが、さいかというない。

、ゆる問題に配いて再機能を加へ

く場別なる決点を認めあ

「内部職就に関し一院の衛に確認」
「原理」「東方別任した毎月回。在海川等は「東方別任した毎月回。在海川等は「東方別任した毎月回。在海川等は「東方別任した毎月回。在海川等は「大・地域だら通り」
「東方別任した毎月回。在海川等は「大・地域だら通り

(海州) 単郷の新殿郷に繋続する。湖南略 1日1日午期十時から確認 (海州) 単郷の新殿郷に繋続する。湖南略 1日1日午期十時から確認

寅海道郡守會議

日一町が二日指北南郷が1と、 で職所開展地である。北出い 名から他のKじむやうな、北会四 名から他のKじむやうな、北会四 名

名は昨年の早代にも拘らず、の不 医型の配配を発生の作人自己では 佛地主に威謝 こうきょう 呼順に、何らの不自由な 関して あるが、これは同概合地ボであっ.

知事會談での指示を徹底

廿日ごろ招集の見込

根氏ほか九十六名(九十七四)とれて来た、これは西松部川原中六

で 金宝で持ちその四分作以上に動物では金宝で持ちその四分作以上に動物では一次に対していませば一次に対していませば一次に対していませば一次に対していませば、一次に対していませば、一次に対していませば、

の示された大方針の真理心につき 別かるべき都学育級の概さも他際に戦な秀威を加へてゐるので近く

真を示理しこれが見れ納底で

神溪寺風光を復活

赤松成木を賣拂つた一萬圓で

を関立するととなった。前も、八、累金の自身を開始した。関係な場ではこと、いっていっているの意味は明確ななくこのたび大規模の概定はま、ここったいの意味は明確なない。 いっていったいの意味は明確なない。

ひる歌詞を以つて郷む方戦である力を促して諸政戦の完登に常らしを以つてその方針を顧明し一大郎

各面對抗武道大會

をしようとするもので調整は

芸利村三百町形内より砂七十

品限型頻繁たる銀守に到し力と約 対ものたらしめず地方における最

が成民で成成式手がある際に 金剛山一際に大火がかか上し國 ・ が就中災害の場だしい発金削したことは関ゼのことである

園 絵 教 炎 (幅のあながみがれる) 角膜實質炎 (離日の晶は傾居です)

無目の島は危破。 一

眼精疲勞

トラホーム(彼のほぼくと失明す)急慢性結膜炎(飛にしまれてのうまで)

の地類祭は求る十四日に行ふ豫でには二十五萬人にしてうと説

次の如き眼病に

總代理店

1 株式合社

E 追 商

林道には附近の部落民が自殺的め道様似況が非常に良い、野野 して国りまた他の関係工事もな 都彩から銃巻陵殿として国史辞録ので単行民が協力してるるた。の重賞を力数、警閲監辞談論を禁め進揚が兄が非常に良い、修蔵 暦して吹式した てゐるので朝班しく思ばれた」に砂利を敷き道末を揺るたりし

造所起工式 富平瓦斯製

等、国際網販出職員を照行、参用「改多數辨照」原大に製行した 小豊や各無概衍子時名時期的意象 中から仁川形尹、内弥郎長在から、 小豊や各無概衍子時名時期的意象 中から仁川形尹、内弥郎長在から、 の関東張明第一日は各語に関右、中國語所の即に武は四日午前十時、 の関東張明郎第二日は各語に関右、

幽霊に非ず

殺した筈の男が蘇生して

井戸の中から、恨めしや

療治 る頃

(定價) 二十五錢。四十五錢

の頭店にあります。 の頭店にあります。

於て格段の相違があります。 復します。蓋し舊式眼薬とは効果に かに不快な眼病を治療し、疲勞を恢 こを滅じ、眼中をサッパリさせ、 日數回の點眼で、充血を除き、眼ヤ スマイルの快よい殺菌消炎作用は一

れて、眼の疲勞、光血に悩む方が少 炎やトラホーム、たいれ目が増加し 新緑の頃は眼病の多い時です。結膜 またギラーする強い光線に曝らさ くありません。

藥科眼新

慶南からも六氏が出席

映畵班も出張だ

延坪島に名物のグチ漁迫る

東京・京橋ラチウム製薬株式會吐

州郡學校費評議會起つく

設立期成



自宅で習へる



(#

花柳宗專門、意

昭和用達がだい 達物品質







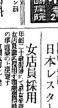












タイピスト
新生物な英語の対象を表現で、大田・大田・東京のでは、一日、大田・東京のでは、一日、大田・東京のでは、一日、日本のでは、一日、日本のでは、一日、日本のでは、一日、日本のでは、一日、日本のでは、一日、日本のでは、一日、日本のでは、一日、日本のでは、一日、日本のでは、一日、日本のでは、日本

電話商品券 賞買 合同產業。會社

タイピスト急募高女帝親接過では大人の要求は八日子後の時を記すの記者の関係という。

本学1田邊







灌本洋服店.



合 夏 冬 服 地 **在**

和洋服古着

本力戦争の動脈に



道具・軍刀階

邦英タイピスト流成所

道貝







超話質買 富 商 會





















第二十二 明日の東京は 金融 市人の一直では、一部の一直の大人が・一〇一五番で 100円 五番

電

大容 院

女中入門工程

100歳 ¥ 2.30

学裁・電波を開発していた。 京日案内

真的材料

省 幾 案 内



竹田敏彦産

(70)

增 田 原 野 田 井 Щ 多 初 良 秉 廷 相 秉 鎭 尙 水 辰 定 良 英 太 左 (いろは順) 胍 金 浩 直 吉 衛 綠 焕 智 武 勇 助 郞 基 助

大 E13 府 電話三〇五〇 井 元 H MJ

大邱印刷合資會社

朝東朝漢殖朝商合大

大邱是築業協會

府

大 邱 郵 便 局

慶 金 尙 融北 組道 合

大 邱 製 絲 所片倉製絲株式會社 大邱製絲株式會社 鮮 生絲株式會社

大 Éß 支 武之 三吉助

慶

関連記憶を必じます。 す活を美の肌若な新清 ## W クララ男液を整かに含んだ豊かに含んだ豊かに含んだ常に清新、巧常に養新、巧 *** 水粧化毒素の合正とうなり。一直はた

信原課長の腰辨談義

材料高で現金でなければ

しませ

長鞭、薫風を截る で、そう概性がが破い で、そう概性がが破い で、そう概性がが破い で、そう概性ががない。 で、そう概性ががない。 で、そう概性ががない。 で、そう概性ががない。 で、そう概性ががない。 で、そう概性ががない。 で、そう概性ががない。 で、これで、自案用 仁川公立職業





されてゐます。吃血色繁を増し

意。

11.11.11







不正確な眼鏡は視力を害します。 設備の完備せる専門店にて展に合ふレンドは必ず

市山政道稱院順為 先川 數程 為於 阿加山政道稱院順為 先川 數程 為於 倒面比较,我就是我们的人,我们 數程 為於 京城帝國大學御川

新藤本町通り四ノ二〇 電話中町三四三八 「新都東京一四六七五四 勤務! 加藤壽命先生謹作 百五人企八拾錢 山貞勝先生謹作 で引受けた! 御願ひ! 新店の名類が編り組みための編組をした 本書の名類が編り組みたけらればある。 平域府本町六 大學堂眼鏡店 が頒布會 開催中 四階美術部 大學堂 開 競 占



戦火を追ふ半島商人の逞しさ

海からペンの戰士

をみなの奉仕作業

情れ一時曇り で表

研蟲

驅除削

効力を現はし、之れに飼れた同族全部数日の蟲に附着と其儘に戻る事によって、水績的な撒布の

後に斃死します

通路に掛いて置くだけて其虚を通った この人畜無害の微細な粉末は動の

房 藥 井 新 房藥井新津清

樊捶ff的研學科基防 ^法鹽

新型型性型 京都 利达商业 北极外里包 高级 就在西班

王人を滅多斬り

不親切を恨みの兇行



マリコモ ウツショニ テャウ デャウ 名古墓で 香噌まして

人院随意 院長野崎 德**野時** 伊斯斯 伊斯斯 伊斯斯 阿斯科

成鏡北道自動車運轉者養成所 徒募集

一、 寮 集 人 員 第二届三十二二、 寮 集 人 員 第二届三十二

成鏡北道交通安全協會

三十八大事火

上進(三大京和電) (原中 110回第二、88) 上進(三大京都・60年に) (原中 110回第二、88) 上進(三大京都・60年に) (原中 110回第二、88) (三大京都・60年に) (原中 110回第二、88) (三大京都・60年に) (原中 110回第二、88) 層及涔腈茶

熔岩の破壊力

田氏銀の移動

灰素と液體酸素

酷熱:激烈な真空發生

飛行機實現

正允

、病院に於て ないことは数

少年二千六百年

四段

回勝一

W O

朝鮮郵船定期

不觀を許さぬ我生絲

説明を終

靴下

公高目の意義 上段 小野田千代太郎

あすのきょもの 日(月)

朝の部

日间

りよ元會發を審明設献文策治 呈の りあに店貨百店業法一個全●

を許さない。 を許さない。 を許さない。 を許さない。 ボイチカ)の合物がに病原質 (〇〇・五-)大錠百 (〇五・三) 太錠〇二 〇 (元 川 より) (一 川 まり) 金原丸 離 有一百 O九州石 人施 丘 丸 海南浦 玉月 人日 〇大連行 及登記公告

法人登記公中 所裁判院目域出張所 所裁判院目域出張的八千重自 他的工作的一位大日音出 所以 出版 上 張 所

温馨 雕州支廳

のでは、 のでは、